

# 静岡県そろばんの日

沼津地区 萱間志津子

第五十回「静岡県そろばんの日」は全国的に大気が不安定な状態が続き、各地に大雨・落雷の注意報が出ている八月二十日水曜日、静岡市清水文化会館にて盛大に開催されました。

今年度はグランシップが都合上使用できなくなり、清水文化会館



となった。清水駅下車、三保の松原が世界遺産となり駅周辺は美しく整備されていた。高架橋を渡りながら天気が心配で空を見ると、薄雲を通して太陽が降り注ぐ何とも清しい午前九時であった。

新築間もない近代的なこの会館は勝手解らず、迷路のような会場を清水地区の先生に楽屋・舞台裏と案内される。

九時三十分 大ホールに全員集合する。松村支部長の挨拶に続き、本日の進行要領の把握と担当確認がされた。今年の役員は東部地区が担当。各持場で手際よく進行準備された。役員控室は楽屋裏にあり最初は迷った道も用事で走りまわっていると、新館だけあって機能的で有る事に気付く。

氏名読上係は荒木田先生の指示に従い楽屋裏の控室に入る。既に事務局の青島さんが莫大な仕事をテキパキと準備していた。

十一時三十分 受賞者と保護者の受付開始。受付もスピードアツ

プして、欠席者が次々と控室に届く。読み手は名簿を取消す、欠席が出席にもなる。

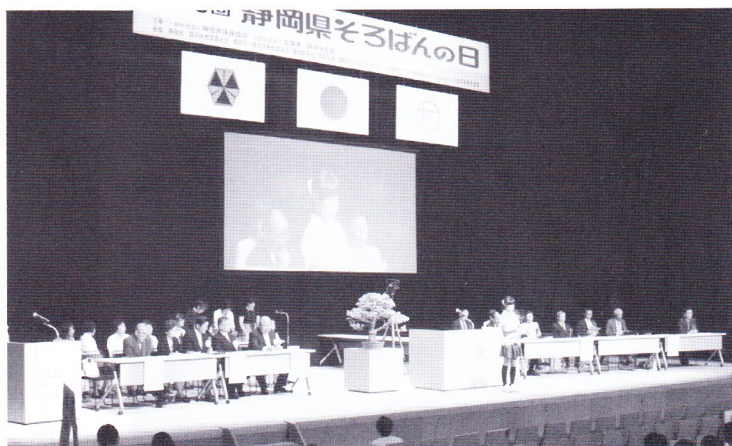
十二時三十分 開式。

幕が上がれば内を見ると椅子の配置は一望しやすく最上段までよく見える。満席だった。会場が広すぎると空席が目立つが、出席者がぴったりでした。

澤田幸子先生司会により開式の言葉を深澤好胖先生。続いて国歌斉唱。静粛な空気が場内に溢れて、静けさが引き締まったなか、静岡県珠算協会会長挨拶。来賓祝辞。毎年乍ら多くの来賓の方々のご出席により式典が格式高くなりました。お忙しい中、本当に有難く感謝申し上げます。

十三時十五分 表彰始まる。

第五十回の表彰申請者は、四九三名。東部地区より一番から四九三番迄三組に分けて、東部の地区長により氏名が読上げられる。荒木田先生が一人ひとり「おめでとう」と励ましている。盾を胸に抱へて来賓の方々に黙礼して退場する。全ての受賞者が礼儀正しかった。会長の事前通達とリハーサルの結果である。「そろばん」を習



う子は礼儀作法も身に着く事を父兄の皆さんは感じたと思う。

続いて、研修部長 徳増久夫先生により、作文・詩コンクールの報告。本年度の作文四一〇稿・詩一二四稿 計五三四稿でした。厳重な審査の結果、  
作文の部優秀賞  
「そろばんを未来へつなぐ」  
静岡市立西奈小学校六年  
小松ひかる

詩の部優秀賞  
「人生は たし算だ」